

ここがおすすめ！わたしの大切なこの一冊  
～好きな本を紹介し合って本の世界を広げよう『森へ』『わたしと本』～

指導者 小山晃之介

## 1 指導事項と言語活動

### (1) 指導事項

- 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。  
(B書くことウ)
- 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。(B書くことオ)
- 語感、言葉の使い方について関心をもつこと。(言語事項イーカ)

### (2) 言語活動

- 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書く言語事項(言語活動例エ)

自分が他の人に薦めたいと思う事物を取り上げ、そのよさを多くの人に伝わるように、さまざまな形式の中から適切なものを選んで書く言語事項である。推薦したり、宣伝したりするためには、その事物についてよく認識する必要がある。そのためには、本をよく読み込み、相手に伝わるような構成や推薦するための言葉などに注意して叙述を整えること、確かな理由や根拠に裏付けられていることや、他のものと比較してのよさなどをとらえることができるように指導する必要がある。具体的には、「本の帯」「ポップ」「パンフレット」「CM」の中から自分が表現したい方法を選ばせたい。どの紹介する形を選んだとしても、だれに向けて紹介するのか、どこを強く伝えたいのか、どんな表現上の工夫をするのかをはっきりさせて活動に取り組ませたい。

## 2 単元目標

- 自分が好きな本のよさを伝えるために表現や方法を工夫しようとする。
- 自分の好きな本のよさを友だち同士で紹介し合うことで、読書への興味を深め、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

## 3 研究テーマにせまるための手だて

自ら学ぶ力を育てるための学習の展開  
～多様なメディアを活用した情報活用能力の育成～

### (1) 子どもの実態

本学級の児童の多くは読書が好きである。児童の半数以上が週に3日以上読書をする時間をもっている。一方で、自分が好きな物語のシリーズや、歴史もの、アニメやマンガの関連小説など、特定のジャンルの本しか読んでいないという実態がある。また、作業的な活動には意欲的に取り組むが、物語文を読んで感想を交流したり、説明文を読み、自分の考えをまとめ、それを読み合ったりする活動においては、友だちの感想や考えに共通点や相違点を見出そうとする児童はなかなかおらず、友だちの発表を聞いて「そうなんだ」と思い、それ以上質問したり、話を広げたりすることが少ない。本の紹介活動としては、これまでに本の帯作り(3年)、読書感想画(4年)、ポップ作り(5年)と様々な形で、視覚的なものと自分の思いや本のよさを言語化して、つなげる経験をしてきている。これらの活動を振り返るとともに、高学年として更なる発展をさせるため、「本の帯」「ポップ」「パンフレット」「CM」の中から自分が表現したい方法を選ばせたい。この活動を通して、読書が生活に潤いを与え、生きていくのに役立つのだということだけでなく、単純に「世の中にはこんなに素晴らしい本がたくさんある」「読書はとても楽しい」ということを実感させ、生涯にわたる読書人へと成長していく素地を育てていきたい。

### (2) 指導の手立て

<これまでの経験を想起するために>

この単元は6年間の本の紹介活動のまとめと位置づけられる。よってこれまでの学習を想起しより深めるためにデジタル教科書を使用し、各学年の教科書を確認するとともに、自分たちが行ってきた活動を振り返ることができるようにする。

<写真からイメージを膨らませるために>

『森へ』では、カヤックが進むにつれて筆者の目の前に現れる生き物たちの様子が、実際に撮影した写真や、五感に訴えかけるような言葉で表現されている。物語でも説明文でもないこの作品は、写真が自然の美しさ、厳

しさ、不思議さを読者にそのまま伝えてくれる。写真を大きく扱うことで、森での倒木やキノコ、サケ、クロクマの親子との出会いを通して、筆者が考えたことや感じたことをイメージできるようにしたい。そこで、プロジェクターを使って教科書の写真を拡大して見せ、森の様子や筆者の体験を実感できるような場を設定し、一人ひとりが写真から多くのことを感じられるようにしたいと考えている。

＜よりよい表現で本の良さ内容を伝えるために＞

まずは、朝のスキルタイム等を使って、NHK for School の「伝える極意」や「メディアの目」を視聴したり、実際のポップの見本を掲示したりし、ポップやキャッチコピーの作り方を学ばせたい。そこから『森へ』のよさについてカードを使って紹介する活動、自分の好きな本のよさを紹介する活動と、徐々に活動を広げていく中で推薦したい内容明確にし、相手によく伝わるように書けるよう指導していきたい。

#### 4 評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの本との関わりを振り返り、自分と本との関係を考えている。</li> <li>○自分が好きな本のよさや自分の考えを伝えるために、よりよい表現を選んだり、工夫をしたりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推薦したい内容が相手によく伝わるように、言葉や表現に注意して文章を書いている。</li> <li>○推薦したい内容や理由について根拠を明確にして文章を書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○語感、言葉の使い方について関心をもったり、比喩や反復などの表現の工夫に気付いたりすることができる。</li> </ul>

#### 5 指導と評価の計画

次	時	学習活動と内容	評価規準と指導の手立て
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習の見通しをもつ</li> <li>・『わたしと本』で今までの読書生活を振り返り、自分と本との関係について考える。 (どんなときに本が読みたくなるか、どんな読み方をしているか、読むと自分にどんな変化が起きるか等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今までの学習を想起するために、デジタル教科書を使い、「本」や「読書」に関する学習の過程を確認する。</li> <li>○自分と本との関係がまとめられるようにワークシートを用意する。</li> <li>○自分が普段どのように本と関わっているかを考えさせようとして、紹介したい本を決めるように指導する。</li> <li>○本が役に立っていることを肯定的に受け止めさせる。</li> <li>○村中李衣さんと宮部みゆきさんの文章を紹介する。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が好きな本を自分が選んだ方法で、紹介する文章や映像を作っていくという目当てをもつ。</li> <li>・『森へ』を読み、本のよさを探し、伝える練習を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポップの見本を実際にみてイメージをできるようにする。</li> </ul>
<p>ここがおすすめ！わたしの大切なこの一冊 ～好きな本を紹介し合って本の世界を広げよう『森へ』『わたしと本』～</p>			
		◆『森へ』の作者である星野道夫さんについて知る。	○星野さんの写真や経歴を紹介して、『森へ』への興味・関心を深める。



## 6. 本時目標

好きな写真をもとに根拠をもって『森へ』のよさをおすすめカードにまとめ、意見を交流し合う中で、推薦したい内容をよりよい表現で書くことができる。

## 7. 本時展開(5/9)

学習活動と内容	評価規準と指導の手立て(☆活用するICT機器)
<p>1 学習のめあてと流れについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が書いた『森へ』のおすすめカードをもとに意見の交流をし合う</li> </ul>	<p>☆デジタル教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意見を交流しあい、『森へ』のよさを相手に伝えることが目的であることを伝える。</li> <li>○板書で時間配分の見通しをもたせる。</li> </ul>
<p>カードにまとめた内容について意見を交流し合い、よりよいカードにしよう。</p>	
<p>2 同じ写真を選んだ友だちとグループを作り、意見を交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜその写真を選んだのか</li> <li>キャッチコピーと、そのキャッチコピーにした理由</li> <li>写真に関係ある好きな文とその文を選んだ理由</li> <li>伝えたい『森へ』のよさ</li> </ul> <p>★よいところとアドバイスを付箋で伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○『森へ』のよさを伝えるための活動であるということを確認する</li> <li>○よりよいカードにしていくために良さと相違点について話し合いをするという視点を明確にする。</li> <li>○おすすめカードをよりよくするためのチェックポイントは事前に学習し、提示しておく。</li> </ul>
<p>3 全体でポップを見合い、付箋を使って意見を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多くの意見が得られるように付箋を使用する。</li> </ul>
<p>4 交流した意見をもとに、カードを見直す。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【関】自分の考えを伝えるために、よりよい表現を選んだり、工夫をしたりしようとしている。</p> <p>【書】推薦したい内容が相手によく伝わるように、言葉や表現に注意して文章を書いている。</p> <p>【書】推薦したい内容や理由について根拠を明確にして文章を書いている。</p> </div>
<p>5 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もらった意見や意見をもとに直したところを全体に発表する。</li> </ul>	<p>☆実物投影機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実物投影機を使い全体で共有できるようにする。</li> <li>○次時は今回の活動で学んだことをいかし、自分の好きな本を紹介する活動を確認する。</li> </ul>